

閉会中の調査報告

産業経済常任委員会

委員会開催日時：平成 29 年 5 月 10 日(水) 午前 9 時 26 分～午後 2 時 37 分

出席者：委員長	栗津寛三
副委員長	松井圭子
委員	矢野進次
委員	赤祖父裕美
委員	加藤貞一郎
委員	藤川みゆき
議長	松原栄樹

議事案件

○所管事務調査について

- ・再生可能エネルギーの推進について

産業経済常任委員会において総合政策部 地域創生推進課 地域エネルギー室の出席により、取組み中のエネルギー政策の説明を受けました。

内容

・湖南省における緑の分権改革を推進する上での三本柱（障がい者福祉／観光特産品の開発／自然エネルギー）のひとつである。

・地域にある自然エネルギーを活用した持続可能なまちづくり（地域循環型エネルギー戦略）の推進を図る。

などを軸とし、福祉を絡めた個別の説明（太陽光発電／小水力発電／芋発電／地域新電力会社）の後、現地調査を行なった。

調査場所

- ・資源再利用工場 芋発電の実証現場

・市民共同発電所 柑子袋まちづくりセンター4号機 福祉作業所バンバン初号機

質疑応答

問) 大学との連携についてどのようになっているのか。

答) ソーラーカーのイベントに立命館大学の学生に協力をいただいた。また県立大学・近畿大学・龍谷大学など協力をいただいています。

問) 市民を巻き込む環境学習についての地域エネルギー室としての考え方は。

答) 広報こなんに定期的に掲載し興味を持ってもらえるようにしています。また連続講座による学びの機会も図っています。市全体に広がるよう努力をしていきます。

問) メガソーラー設置による問題がおきているようだが考えは。また太陽光パネル設置による気温の上昇があると聞いているが見解は。

答) メガソーラーによる土砂流出がありました。土木建設課・農林保全課に報告し地域の団体と協議中とのことです。太陽光パネルについて県ではガイドラインを作る方向と聞いています。都市政策課による景観の観点、地域エネルギー室では近隣への説明のお願いをしているところです。

問) 以前に担当者が条例と市民共同発電所について講演をされているが、それ以降のこの事業への取組みは。

答) プランに基づき市民共同発電所3号機4号機の設置、木質バイオマス、地域新電力会社と進めています。

問) 市民共同発電所5号機 6号機の計画について。

答) 固定買取価格の見直しもあり検討中です。